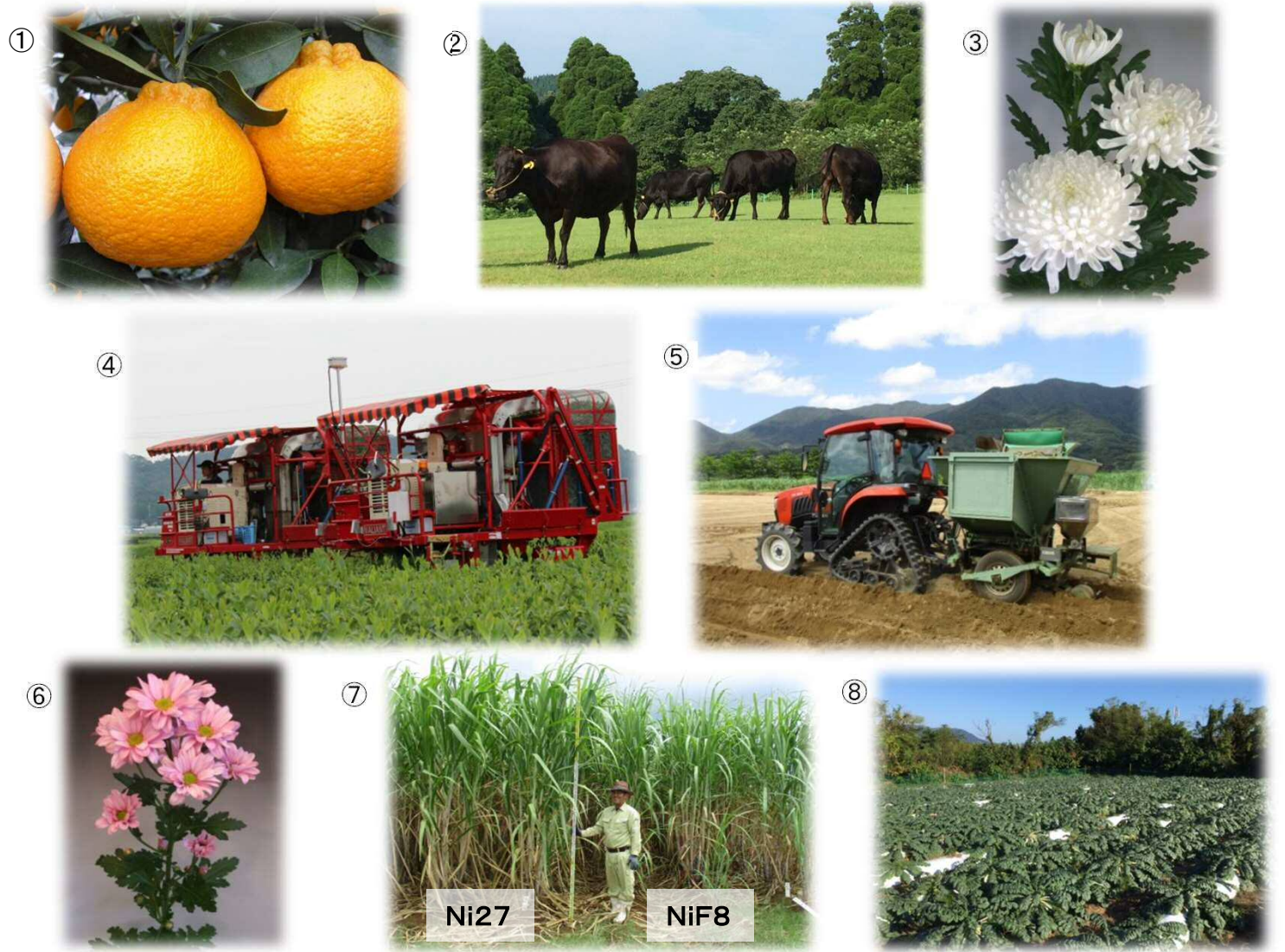


## 5つの基本テーマ

- ① **A** かがしまブランドを育む技術開発
- ② **B** 収益性の高い農業経営の実現に向けた技術開発
- ③ **C** 新しい需要を切り拓き付加価値を高める技術開発
- ④ **D** 生産環境の変化に対応した農業技術の開発
- ⑤ **E** 安心・安全で環境にやさしい農業生産を支える技術開発

農業開発総合センターはA～Eの「5つの基本テーマ」の研究開発に重点的に取り組んでいます

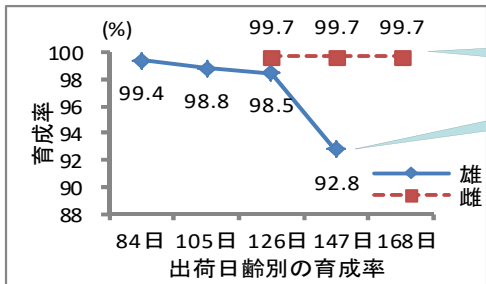


①かがしまブランド候補品目「大将季(だいまさき)」②黒毛和種繁殖雌牛の放牧 ③輪ギク新品種「冬馬」④茶の乗用型摘採機の自動走行  
⑤半履帯トラクタを利用したサトウキビの植付け ⑥スプレーギク新品種「きゅらメール」⑦サトウキビ「Ni27」の草姿 ⑧桜島大根「桜島おごじよ」

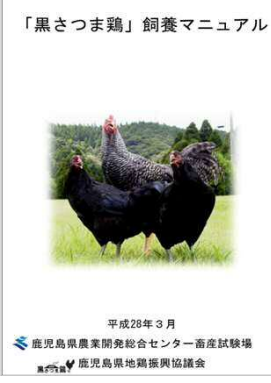
## 鹿児島県農業開発総合センター



# A 黒さつま鶏の適正出荷日齢と飼料用米給与による肉質改善効果 畜産試験場



雌：産卵開始  
雄：育成率低下



作成した飼養マニュアル

## 技術ポイント

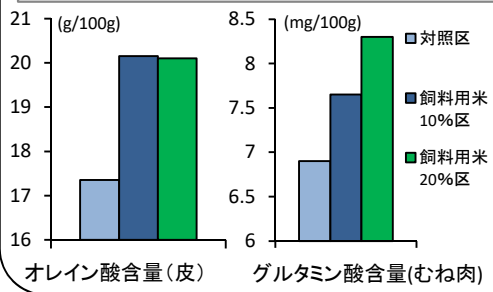
- 雄：126日齢 雌：147日齢以内に出荷
- 出荷前2週間仕上げ飼料の10～20%を飼料用米で代替
- 飼養管理技術等を含めた「飼養マニュアル」を作成

## 効果

- 適正出荷による育成率の低下防止
- 皮のオレイン酸含量やむね肉のグルタミン酸含量が高くなるなど、肉質の向上
- 飼養管理の改善等による事故率低下、品質の斉一化



## 黒さつま鶏のブランド力強化



平成28年3月  
鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場  
鹿児島県地鶏振興協議会

# A 早春型におけるバレイショそうか病の発生程度と種いも消毒の重要性 生産環境部



そうか病発生圃場からの種いもは無病徴でも、汚染されている

次作で激発！  
種いも消毒重要！

## 栽培ポイント

- バレイショそうか病の伝染源は土壌より、種いもが深刻
- 圃場内のそうか病罹病いもは必ず圃場外へ持ち出し、処分
- 自家採種種いも(早春型)は、無病徴のいもでも、消毒を徹底することで発病度の低減が可能
- 種いも消毒と罹病いもを除去し、種いも消毒を徹底し、バレイショそうか病を回避！

## 適応地域

青果用バレイショ産地

# A 新たな黒豚系統豚「クロサツマ2015」 畜産試験場



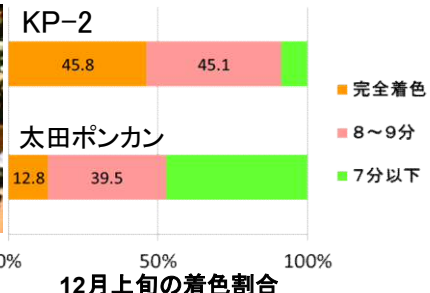
## 特徴

県内黒豚を改良

- 背脂肪は薄く、ロースは大きい
- 離乳時子豚総体重も増加
- 体積に富み、管囲も太く、乳器も改良
- クロス豚(系統間交雑豚)の譲渡はH29.9から

| 主要改良形質                   | 改良前  | 認定群    |
|--------------------------|------|--------|
| 背脂肪の厚さ(cm)               | 1.9  | → 1.6  |
| ロース断面積(cm <sup>2</sup> ) | 24.4 | → 28.6 |
| 離乳時子豚総体重(kg)             | 46.8 | → 60.6 |

# A 年内出荷に適した早生ポンカン「KP-2」の特性 果樹部



## 技術ポイント

- 着果性が良く、隔年結果性は低い
- 12月上旬に果実が8分着色以上、となり「太田ポンカン」より早く着色する
- 果実：190g程度、扁球形、糖度：10.5度、クエン酸：0.7%程度
- 果皮色は橙色で、す上がりの発生が少ない

## 適応地域

カンキツ生産者・カンキツ産地

# A 低温開花性に優れる白系秋輪ギク新品種「冬馬(とうま)」の育成 花き部

品種登録出願中



- 「新神」よりも低温開花性が向上
- 「新神」並の花のボリューム
- 低温期も草丈が良く伸びる
- 特に2月から3月出し栽培に適する

## 特徴

- 低温期も草丈の伸びが良いため、わい化剤などでボリュームをつけることにより、秀品率の向上が期待できる
- 低温管理で開花が遅れないため、暖房費の節減による生産コストの削減が期待される

## 適応地域

・南薩、大隅地域等の輪ギク栽培農家  
・平成28年度から供給開始

## B お茶の乗用型摘採機の自動化による ロボット作業システムの開発

茶業部



自動走行の作業風景

特許:第6007440号  
(共同出願)



制御盤でコントロール

### 技術ポイント

- 機械に搭載した各種センサーで茶畝を検知し、自動走行

### 留意点

- 導入には、メーカーの定める講習会の受講が必要

### 適応地域

県内茶生産地域

## B ダイコンのキスジノミハムシ防除が可能な 同時工程播種機

大隅支場



成虫

幼虫

食害痕

施薬キットはH29年度末市販見込



キスジノミハムシ被害状況

畝立・播種・施肥・施薬同時作業

### 技術ポイント

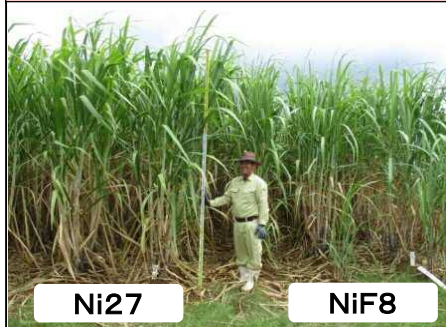
- シードテープの種子位置を検知し、発芽穴を開ける
- 深さ3~6cmにブリロッソ粒剤を帯状に同時施薬することで、キスジノミハムシ幼虫による生育初期の被害を軽減できる
- 畝立・播種・施肥・施薬同時工程の一連の作業は1時間/10a程度で可能

### 適応地域

大規模畑作地域

## B 奄美地域の夏植え向きサトウキビ 新奨励品種「Ni27」

徳之島支場



Ni27

NiF8

### 技術ポイント

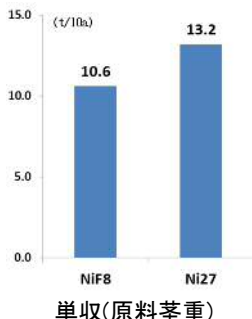
- 一茎重が重い
- 「NiF8」より多収  
[特に夏植えで多収  
(25%増収)]
- 黒穂病抵抗性「中」
- 葉焼病等に強い

### 効果

- サトウキビの生産性向上
- 生産農家の経営向上
- 普及目標面積:1,000ha
- H29夏植え用種苗配布予定

### 適応地域

奄美地域



## C ブドウ収穫期前進化による 3色セット販売

果樹部



無散布

散布

シアナミド液剤の散布



3色ブドウのセット販売

### 技術ポイント

- シアナミド液剤散布(時期)  
「ピオーネ」(1月中旬)  
「クイーンニーナ」(1月上旬)
- 収穫の前進化で早生の「シャインマスカット」と同時期収穫、盆前出荷が可能

### 留意点

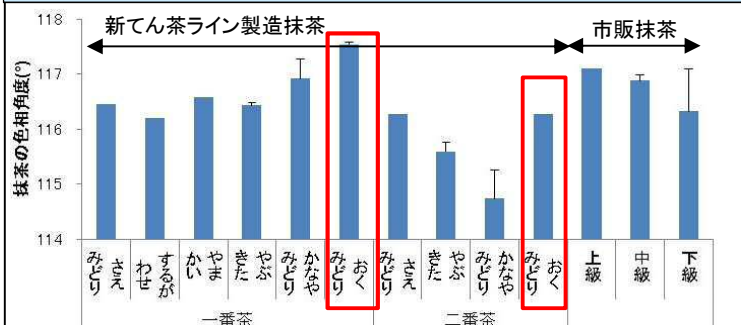
- 満開30~35日後に主幹部を2cm幅で環状剥皮する
- 着果程度は主枝1mあたり6房とする

### 適応地域

「ピオーネ」等の種なし・無加温栽培地域

## C 炒蒸機とネット型乾燥機を用いて製造した 加工用てん茶・抹茶の品種別色の特徴

茶業部



新てん茶ラインで製造した抹茶と市販抹茶の色の比較

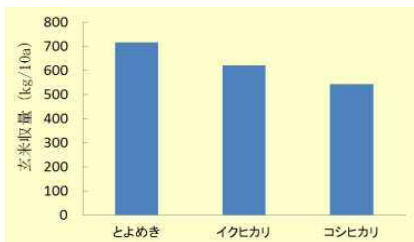
市販抹茶価格(20g当)  
・上級:1500円~  
・中級:700~1500円  
・下級:700円未満

### 技術ポイント

- 炒蒸機とネット型乾燥機を用いて製造(新てん茶ライン製)した加工用てん茶・抹茶の品種別の色の特徴を整理
- 「おくみどり」は抹茶の色が他の品種に比べ濃鮮色で優れ、加工用抹茶としての適性が高い

## C 業務・加工用向け早期栽培用多収品種 「とよめき」の特性

園芸作物部



収量比較(イクヒカリ, コシヒカリ)

### 特徴

- 早期栽培用晩生種
- 「イクヒカリ」と比べ、出穂期で4日、成熟期で8日遅く、稈長は同程度、穂長は長く、1穂粒数は多い
- 収量は極多収  
「コシヒカリ」より約30%アップ  
「イクヒカリ」より約15%アップ

### 適応地域

県内早期水稻栽培農家

## D 桜島大根「桜島おごじょ」の空洞化を軽減できる施肥方法 園芸作物部



### 技術ポイント

- 基肥に窒素を施用せず、追肥主体で、空洞症を抑制
- 適期(1月)収穫で‘す入り’回避
- 空洞症および‘す入り’の低減により商品率向上  
現行:50%~70% → 追肥重点栽培:90%
- 栽培マニュアルを活用し、安定した生産と計画的な出荷

**適応地域** 桜島地域を中心に約20戸、2ha程度

品種登録出願中

## D キャベツ根こぶ病は低温期に定植する作型では発生が少ない 病理昆虫部

定植後の発病度と平均温度(H27)

| 定植月日   | 供試品種 | 発病度  | 現地ほ場  |       | アメダス<br>気温(℃) |
|--------|------|------|-------|-------|---------------|
|        |      |      | 地温(℃) | 気温(℃) |               |
| 9月24日  | 金春   | 64.4 | 23.9  | 22.8  | 22.8          |
| 10月7日  | 金春   | 56.6 | 20.6  | 19.6  | 19.3          |
| 10月14日 | 金春   | 73.1 | 21.1  | 20.8  | 20.1          |
| 10月26日 | 金春   | 72.8 | 18.6  | 18.2  | 18.2          |
| 11月6日  | 金春   | 71.3 | 19.5  | 19.8  | 20.0          |
| 11月25日 | かんろく | 8.4  | 14.1  | 12.4  | 12.8          |
| 12月16日 | かんろく | 0    | 12.0  | 10.8  | 11.1          |
| 1月12日  | かんろく | 0    | 8.1   | 6.1   | 6.8           |



### 技術ポイント

※温度は定植後14日間の平均

- 11月下旬定植の作型では根こぶ病の発病度は著しく低くなり、12月中旬、1月中旬の定植では発病が認められない
- 定植後14日間の平均気温が12℃以下の作型では、キャベツ根こぶ病の発生が大きく減少する

**適応地域** 県内全域

## E スナップエンドウおよびソラマメを加害するハモグリバエ類の種構成 生産環境部

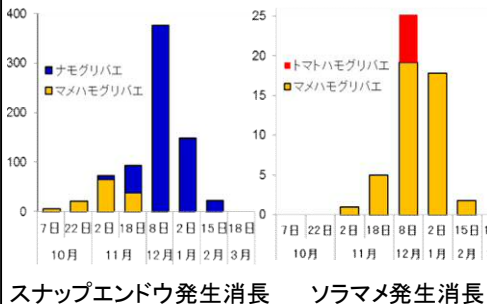


### 技術ポイント

○ 幼虫の被害痕でハモグリバエ類の種の判別は不可能

○ スナップエンドウ  
ナモグリバエが主体  
マメハモグリバエは栽培初期

○ ソラマメ  
マメハモグリバエが主体  
ナモグリバエは加害しない



**適応地域** 指宿市のスナップエンドウ・ソラマメ栽培農家等(適期・適薬剤による防除に活用)

## E 夜間間断散水によるチャノホソガの三角葉巻の発生抑制効果 茶業部大隅分場



夜間(19:00~1:00)間断散水した際の三角巻葉発生数(枚/m<sup>2</sup>)

| 試験区名 | 平成28年産二番茶  | 平成28年産三番茶 |
|------|------------|-----------|
| 散水区  | 5.1 (44)   | 0.8 (30)  |
| 無散水区 | 11.6 (100) | 2.5 (100) |

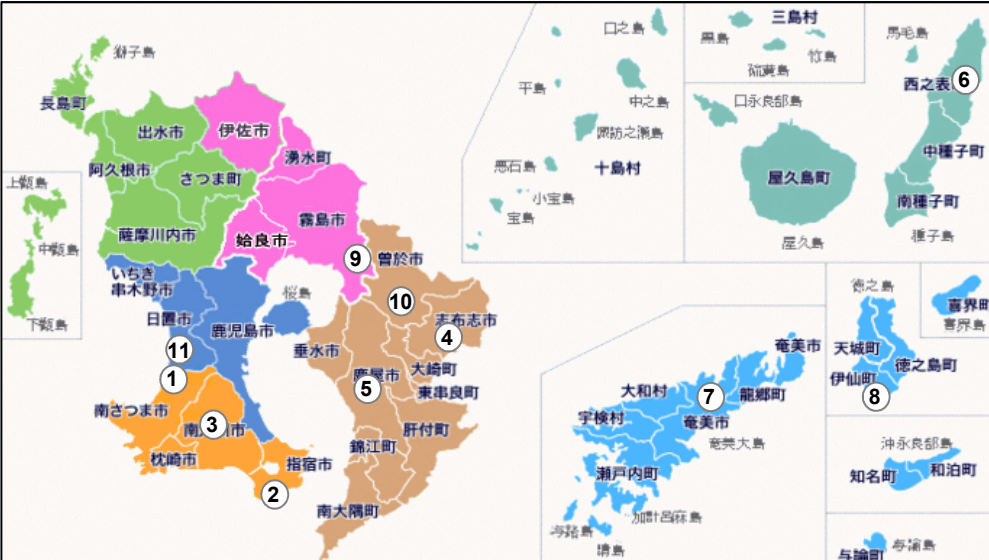
散水で被害を軽減

### 技術ポイント

- 萌芽期~2葉期に午後7時~午前1時の間断散水で、三角巻葉の発生が抑制できる

**適応地域** 県内茶生産者(畑かん施設整備地区)

### 農業開発総合センター所在地



- ①本部(南さつま市) 管理部 企画調整部 園芸作物部 生産環境部 果樹部(H29集約)
- ②花き部(指宿市)
- ③茶業部(南九州市)
- ④茶業部大隅分場(志布志市)
- ⑤大隅支場(鹿屋市)
- ⑥熊毛支場(西之表市)
- ⑦大島支場(奄美市)
- ⑧徳之島支場(伊仙町)
- ⑨畜産試験場(霧島市)
- ⑩肉用牛改良研究所(曾於市)
- ⑪農業大学校(日置市)

平成29年度より果樹部は①農業開発総合センター本部に集約されました。

地図は鹿児島県HPより

【お問い合わせ】 農業開発総合センター企画調整部(TEL 099-245-1118) 最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課(農政普及課など)

平成29年7月